

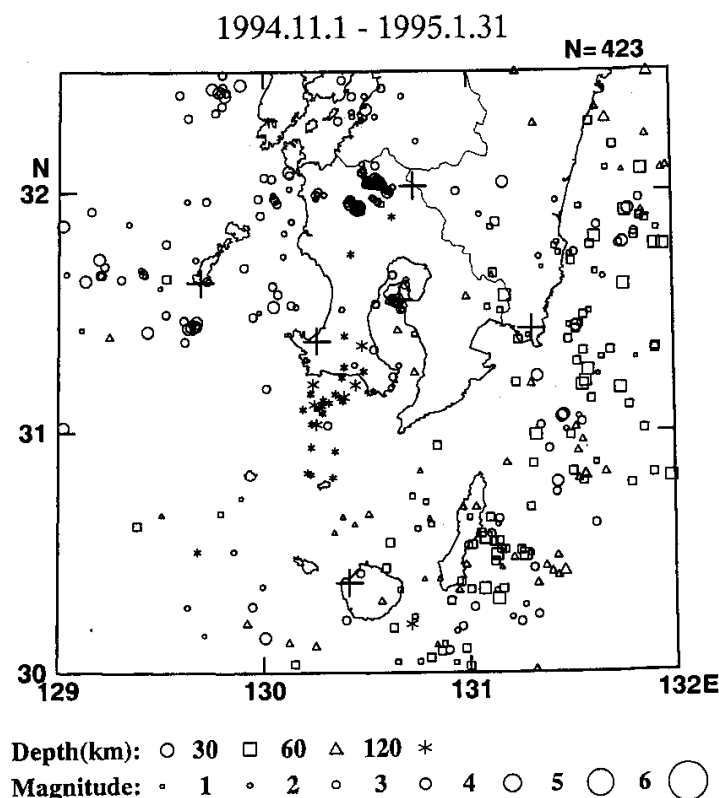
9-2 九州南部の地震活動 (1994年11月~1995年4月)  
**Seismic Activity in the Southern Kyushu District**  
**(November, 1994-April, 1995)**

鹿児島大学理学部

Faculty of Science, Kagoshima University

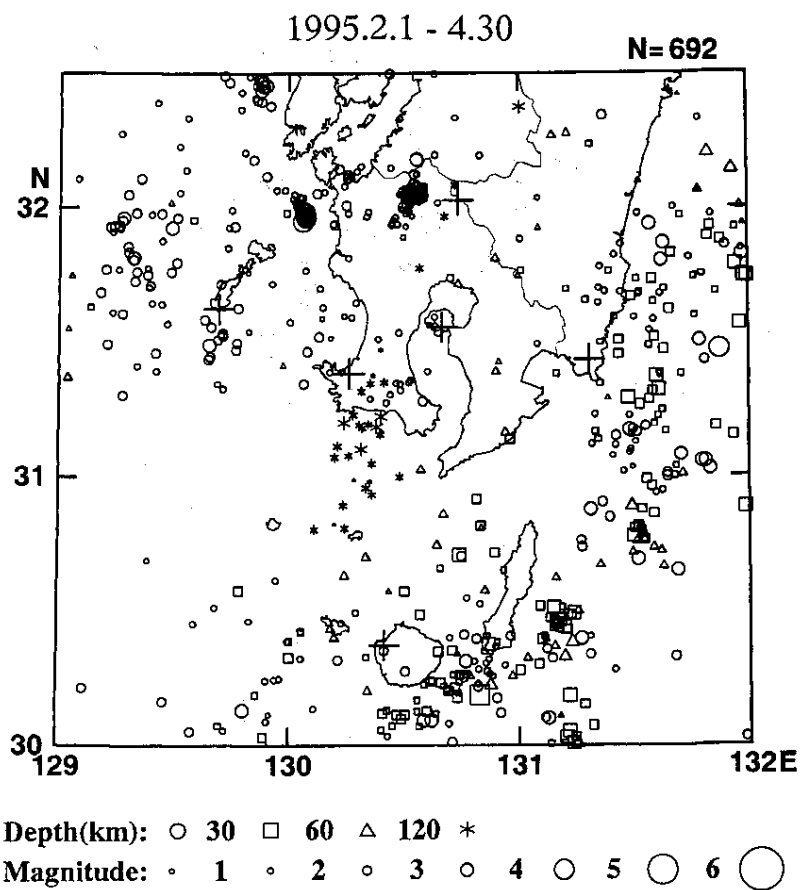
第1図に1994年11月~1995年1月、第2図に1995年2月~4月の震央分布を示す。1994年11月から1995年1月の期間の地震活動は比較的低く、M4を越える地震は日向灘に1個発生したのみであった。1995年2月から4月の期間には、活動がやや活発になり、M4を越える地震が甬海峡北部・日向灘・種子島近海で8個発生した。

甬海峡北部の阿久根沖では3月6日から地震活動が活発となり、翌7日には最大地震(M4.3)が発生、その後も地震活動が比較的高い状態が続いている(第3図)。第4図に最大地震の発震機構解を示す。種子島近海では、4月10日と30日にM4.7およびM4.6の地震、2月4日に小規模の群発地震活動(最大地震M3.8)があるなど、やや活発であった。また、1994年2月13日に発生した鹿児島県北部地震(M5.7)の余震活動は、1年以上経過した現在でも続いている(第5図)。

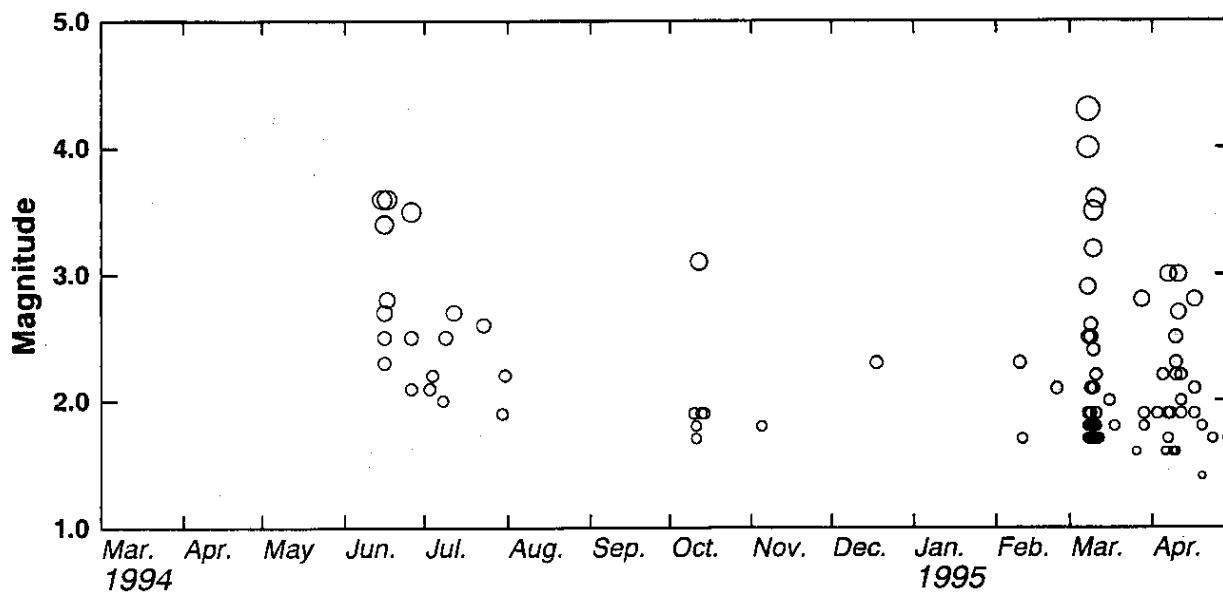


第1図 震央分布 (1994年11月~1995年1月)

Fig.1 Epicenter distribution (November, 1994-January, 1995).

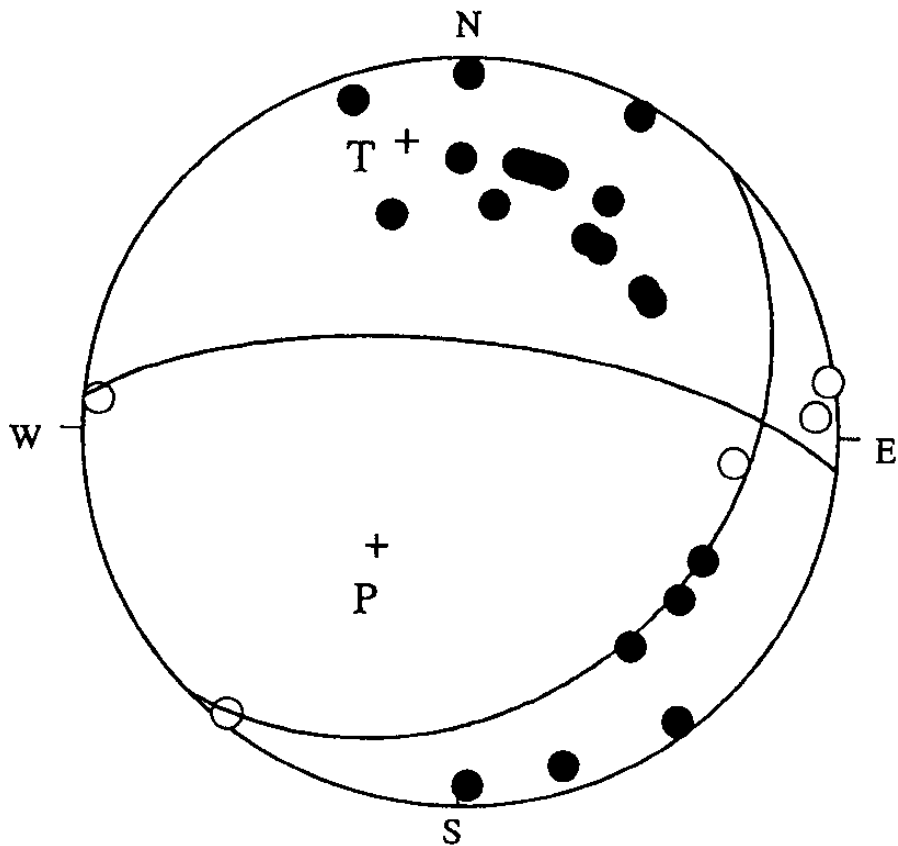


第2図 震央分布 (1995年2月~4月)  
 Fig.2 Epicenter distribution (February-April, 1995).

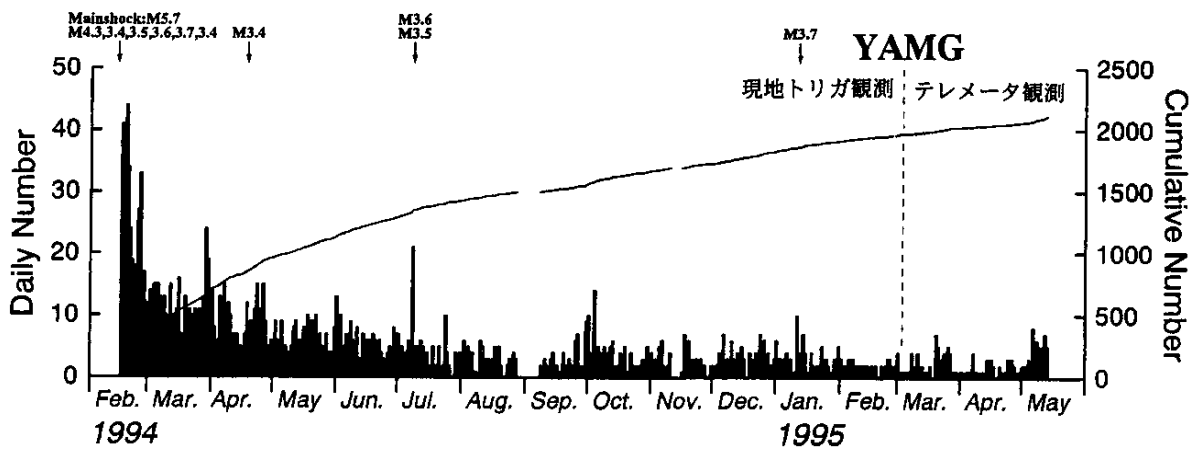


第3図 阿久根沖に発生した地震のM-T図 (1994年3月~1995年4月)  
 Fig.3 Magnitude-time diagram of the earthquakes west off the Akune-city.

Mar. 7, 1995 (M4.3)



第4図 阿久根沖に発生した最大地震の発震機構 (下半球等積投影, ●:押し, ○:引き)  
 Fig.4 Focal mechanism solution of the largest earthquake west off the Akune-city. Equal area projection on the lower hemisphere (●: up, ○: down).



第5図 1994年鹿児島県北部地震の日別および累積余震数  
 Fig.5 Daily and cumulative number of aftershocks of 1994 Northern Kagoshima-Prefecture earthquake.